※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　芸術科　音楽

教科	芸術	科目	生涯学習音楽	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	プリント等						
副教材等	プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

楽譜を読む練習をしながら歌唱・ギター、リコーダー等でのアンサンブルに取り組み、またミュージカルや様々な音楽に特徴がある映像などの鑑賞などを行います。
自主的に積極的な姿勢で授業に参加し、音楽に対する知識だけでなく、演奏技術や表現方法などを身につけていきます、また、それをクラス内で実技発表してもらいます。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
①　曲種に応じた奏法の工夫、知識の習得を身につけることができる。
②　曲の構成や曲想を把握して表現することができている。
③　積極的に授業に参加しようという姿勢や準備ができており、自分の取り組みなどを自己評価することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・歌唱 曲種に応じた発声の工夫、知識の習得と実践ができている。 視唱力が身についている。 ・器楽 様々な楽器の体験と奏法の工夫、知識の習得と実践ができている。視奏力が身についている。 ・鑑賞 声や楽器の特性と表現上の効果についての知識習得ができている。	・歌唱 歌詞及び曲想の把握と表現の工夫ができている。 合唱における表現の工夫ができている。 ・器楽 曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫ができている。 合奏における表現の工夫ができている。 ・鑑賞 さまざまなジャンルの音楽作品を歴史的、文化的観点からも知ることができている。	・歌唱 積極的に授業に参加しようとする姿勢、準備ができている。 振り返りシートによる自己評価、実技発表を自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。 ・器楽 技術習得に向けて積極的に取り組もうとする姿勢、準備ができている。 振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。 ・鑑賞 記録シートを活用している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	歌唱	合唱(2部･3部)	a: 曲種に応じた発声の工夫、知識の習得と実践ができている。 視唱力が身についている。 b: 歌詞及び曲想の把握と表現の工夫、合唱における表現の工夫ができている。 c: 積極的に授業に参加しようとする姿勢、振り返りシートによる自己評価、実技発表を自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期	器楽	クラシックギターによるアンサンブル	a: 様々な楽器の体験と奏法の工夫、知識の習得と実践ができている。視奏力が身についている。 b: 曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫、合奏における表現の工夫ができている。 c: 技術習得に向けて積極的に取り組もうとしている。振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期	器楽	リコーダーによるアンサンブル	a: 様々な楽器の体験と奏法の工夫、知識の習得と実践ができている。視奏力が身についている。 b: 曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫、合奏における表現の工夫ができている。 c: 技術習得に向けて積極的に取り組もうとしている。振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期	鑑賞	教材に関する音源、映像鑑賞 様々なジャンルの音源、映像鑑賞	a: 声や楽器の特性と表現上の効果についての知識習得ができている。 b: さまざまなジャンルの音楽作品を歴史的、文化的観点からも知ることができている。 c: 記録シートを活用している。	鑑賞記録シート	鑑賞記録シート	鑑賞記録シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度